

### 本日、第 4 回

#### 「新潟県薬物依存症フォーラム」開催！！

「新潟県精神障害者等家族に対する支援事業」の助成を受け、第4回フォーラムを開催できることを大変うれしく思っております。

開催に当たりまして、様々の方面の関係者の皆様から、ご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

回数を重ねるごとに、参加とご支援をくださる方も多くなり、「薬物依存症」に対する関心が高くなっている事を感じます。家族会も、新潟の地で歩きだしたという実感をもたらえていることに感謝しております。

これからも、困っている家族が一日も早く、家族会とつながり元気を取り戻すことができるように情報を発信していきたいと思っております。

県民の皆様のご理解と、関係機関の方々のご支援とご協力を、これからもよろしくお願い申し上げます。

### 家族会の予定

11月14日(日) ながおか市民センター

PM 1:00~4:00

講師 仙台ダルク 飯室 勉氏  
「家族へメッセージ」

12月12日(日) ながおか市民センター

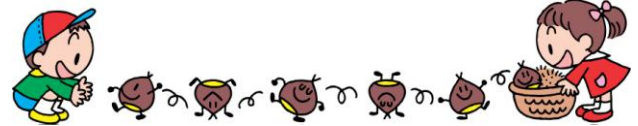
PM 1:00~4:00

講師 栃木ダルク 栗坪 千秋氏  
「家族へメッセージ」

新年1月9日(日) ながおか市民センター

PM 1:00~4:00

家族の体験談・分かち合い



### 家族から高校生へメッセージ・・・

家族会には2年程前から中学、高校から講演依頼があります。先月は川西高校と西川竹園高校から薬物乱用防止教育の授業に、「使ってしまったとしても人生リセットして生きる事の大切さを伝えたい」「親の視点から薬物の危険や、本人と家族の苦しみを話してほしい」との講演依頼を受けて行ってきました。家族の話を生徒たちはどう受け止めてくれているのか、感想をいただいた中から紹介いたします。

☆ダルクの人に「自立」させたいなら家に入れるな。と言われて家に入れなかったところが印象に残っています。冬の寒い夜に帰って来たのを家には入れなかったけど、カイロを渡すところがすごく印象に残っています。とても愛情が感じられました。子どもも苦しい思いをしている分、親もすごく苦しいんだろうなと思いました。本当は家に入れたいのに入れてあげられないと思うとすごく辛いだろうな。やっぱり薬物依存症にならないように気をつけなければならない。もしそうなったら親が悲しむので、自分も辛い思いをするので絶対にしません。

☆息子さんの為に家に入れられなくてかわいそうだけど、それは息子さんを自立させるためにやっているという事で、何回も何回も失敗して今なんとか自立していると聞いて安心しました。覚せい剤を1回使っただけでこんなにひどいことになるとは思わなかった。覚せい剤はもちろん使ってはいけないけど、もし誘われたらちゃんと断れるようになりたい。この講演を聞いて怖いと思ったから、ちゃんと断る！！



☆薬物はなかなかやめられないということがよくわかった。薬物依存以外の人も辛い思いをするということがわかった。テレビやラジオで薬物のニュースを見たり聞いたりするけど、見ているだけじゃ薬物から抜け出す苦労や大変さ、辛さがわからなくて、今日の講演を聞いていろいろ感じる事ができました。すごく薬物は怖いものだと改めて思った。あと、薬物はすごく身近なものだと思って自分にもいつ降りかかるかわからないと思うと、世の中は気をつけて生きていかないといけないと思った。講演に来てくださった2人の方の勇気がすごいと思った。誘われたら絶対Noという。一日一日の積み重ねを大切にしていこう。